

柳生陣屋(奈良市柳生町)(柳生陣屋跡史跡公園)

柳生は剣豪の里である。

柳生陣屋跡をはじめ家老屋敷 柳生家墓地や芳徳寺に保存されている数々の宝物に剣豪のありし日をしたのばせている。

柳生陣屋は柳生新陰流を生み出した宗巖(石舟斎)の子宗矩が亡父宗巖の菩提を弔うため芳徳寺を建て、ひきつづき三年の歳月を費やし寛永十九年この地に建築したものである。

「柳生藩旧記」によると、その坪数は1 3 7 4坪(4 5 3 4㎡)。表は竹の枝門であったと記されている。

その後、宗冬により増築整備されたが延享四年(1 7 4 7)の火災により全焼し、仮建築のまま明治の廃藩により姿を消した。

奈良市では、この柳生陣屋跡を庭園文化研究所 森 巖 工学博士の調査・設計により公園として整備したものである。

奈良市現地看板による

